## 株式情報（2022年3月31日現在）

### 株式の状況

| | |
|---|---|
| 1.発行可能株式総数 | 54,800,000株 |
| 2.発行済株式の総数 | 31,256,600株（うち自己株式1,148,528株） |
| 3.株主数 | 5,467名 |

### 株主メモ

| | |
|---|---|
| ■事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| ■基準日 | 定時株主総会　3月31日<br>剰余金の配当　3月31日<br>中間配当を行う場合　9月30日<br>そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。 |
| ■定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| ■単元株式数 | 100株 |
| ■株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号<br>みずほ信託銀行株式会社 |

■お問い合わせ先

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|---|---|---|
| 郵便物送付先 | お取引の証券会社になります。 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4<br>みずほ信託銀行　証券代行部 |
| 電話お問い合わせ先 | | 0120-288-324（フリーダイヤル）<br>（土・日・祝日を除く9：00～17：00） |
| お取扱店 | | みずほ信託銀行<br>本店および全国各支店<br>※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。 |
| ご注意 | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 |

■公告方法　電子公告（https://www.se-corp.com/ir/koukoku.html）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株主優待のご案内

株主の皆様からの日頃のご支援にお応えするため、今期も株主優待を実施いたします。2022年3月31日現在の株主名簿に記録された20単元（2,000株）以上の当社株式を保有されている株主様を対象に、災害時に備える防災用品（非常食を含む）ならびに、一般用品を含めた複数の品目リストより株主様が選ばれた一品目を贈呈いたします。

| 保有期間 | 優待内容 |
|---|---|
| 3年未満 | 災害時に備える防災用品（非常食を含む）ならびに、一般用品を含めた複数の品目（一律1,000円相当）リストの中から株主様が選ばれた優待品一品目。 |
| 3年以上 | 災害時に備える防災用品（非常食を含む）ならびに、一般用品を含めた複数の品目（一律3,000円相当）リストの中から株主様が選ばれた優待品一品目。 |

※1　期限までにお申し込みがない場合、当社より社会貢献団体への寄付（優待内容相当額）とさせていただきます。
※2「株主優待のご案内」は、別送させていただいておりますのでご注意ください。

## 会社情報（2022年4月1日現在）

| | |
|---|---|
| 商号 | 株式会社エスイー |
| 所在地 | 〒163-1343<br>東京都新宿区西新宿六丁目5番1号（新宿アイランドタワー） |
| 創業 | 1967（昭和42）年8月 |
| 設立 | 1981（昭和56）年12月 |
| 資本金 | 12億2,805万円 |
| 従業員数 | 単体192名、連結538名 |
| グループ事業内容 | 1.建設用資機材の製造・販売<br>・ケーブル製品分野<br>・鉄鋼製品分野<br>・コンクリート製品分野<br>2.建築用資材の製造・販売<br>・建築金物分野<br>・鉄骨工事分野<br>3.建設コンサルタント<br>4.補修・補強工事<br>5.その他 |
| 関係会社 | ㈱アンジェロセック（連結）<br>A&Kホンシュウ㈱（連結）<br>㈱北都運輸（連結）<br>エスイーリペア㈱（連結）<br>㈱ランドプラン（連結）<br>エスイー鉄建㈱（連結）<br>㈲日越建設コンサルタント（VJEC）（非連結、ベトナム） |
| 協力会社 | アンジェロップ（フランス） |

## 役員（2022年7月1日現在）

■取締役・監査役

| | |
|---|---|
| 代表取締役会長 執行役員会長 | 森　元峯　夫 |
| 代表取締役社長 執行役員社長 | 宮　原一　郎 |
| 取締役　専務執行役員 | 串　田信　行 |
| 取締役　常務執行役員 | 野　島久　弘 |
| 取締役　執行役員 | 滝　沢　力 |
| 取締役　執行役員 | 小　松真　彦 |
| 取締役　執行役員 | 市　川真佐史 |
| 取締役（社外取締役） | 岡　俊　明 |
| 取締役（社外取締役） | 平　野尚　也 |
| 監査役（常勤） | 杉　山浩　之 |
| 監査役（社外監査役） | 菅　澤喜　男 |
| 監査役（社外監査役） | 寺　石雅　英 |

■執行役員（取締役を兼任するものを除く）

| | |
|---|---|
| 執行役員 | 中　村賢　一 |
| 執行役員 | 石　野隆　之 |
| 執行役員 | 岡　野康　雄 |
| 執行役員 | 河　田洋　志 |
| 執行役員 | 大　石敏　弘 |
| 執行役員 | 水　津文　明 |
| 執行役員 | 竹　家宏　治 |
| 執行役員 | 齋　藤健　児 |

株式会社 エスイー
https://www.se-corp.com

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

# 株主通信

第41期
2021年4月1日～2022年3月31日

株式会社エスイー　証券コード：3423

## ○2021年度決算ハイライト

**•大幅増収増益～過去最高水準**

**•増配～年間配当14円（前年度比+4円）**

岩城橋（愛媛県）

① 決算概要
② 中期経営計画の進捗状況
③ 配当金について

# 環境変化を捉え、社会課題の解決に貢献していきます

代表取締役会長
森元 峯夫

代表取締役社長
宮原 一郎

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、世界経済・日本経済は引き続き厳しい状況が続きました。2020年度のように防疫対策により経済活動が停滞しただけではなく、ワクチン接種が進んだ先進国の急速な需要回復と一部地域での感染拡大や天候不順などの供給制約から生じた需給のミスマッチが、資源価格の高騰や物流の停滞を招き、サプライチェーンの混乱の影響は多くの企業に及びました。また、昨今のウクライナ情勢によりこのような供給・調達面での懸念は更に強まっていると思われます。

2021年度のエスイーグループは、経常利益が19億92百万円となり、前年度比66％増と過去最高水準となりました。このような好成績は、国土強靭化や社会インフラの老朽化等の社会課題解決に貢献する当グループの製品群がまさに社会から求められたという需要面の追い風に加え、中期経営計画において取り組んできた「事業基盤の再構築」のための施策の効果が小さいながらもいくつも積み上がったことが奏功し、これまでより確実かつ効率的に社会に供給できた結果と受け止めております。

当グループが長年培ってきた技術・ノウハウについては、今後とも社会課題の解決に向けて一層の発展・拡充を図っていきたいと考えております。また、これまでの製品群に加え、海外市場への進出、ESCONの開発、プラズマ発電事業の研究等の投資を引き続き実施していきます。今回、好業績で得た原資については、ステークホルダーの皆様への還元後は、すべからく社会課題の解決に活かしていくことが、当グループの目指す姿であり、使命であると考えております。

株主の皆様には、今後ともエスイーグループに対する支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。





# ①決算概要　～大幅増収増益･過去最高水準～

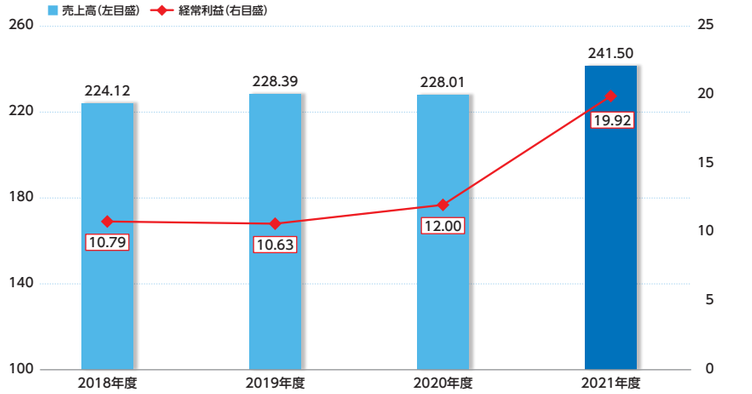
**●売上高は、建設用資機材の製造･販売事業が好調だった前期を更に上回り、新型コロナウイルス感染症の影響による売上高のマイナス分を補填し、増収を達成。**

**●利益面では、増収効果および利益率改善、移動制限等の影響による経費の抑制等により、大幅な増益を達成。また、投資有価証券売却益を特別利益として計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度の約2.6倍に。**

| | 2021年度 | 前期比 |
|---|---|---|
| 連結売上高 | 241億50百万円 | ＋13億49百万円 |
| 連結営業利益 | 19億82百万円 | ＋7億96百万円 |
| 連結経常利益 | 19億92百万円 | ＋7億91百万円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 16億14百万円 | ＋9億81百万円 |

（上記の数値は会計方針の変更によるものを含んでおります）

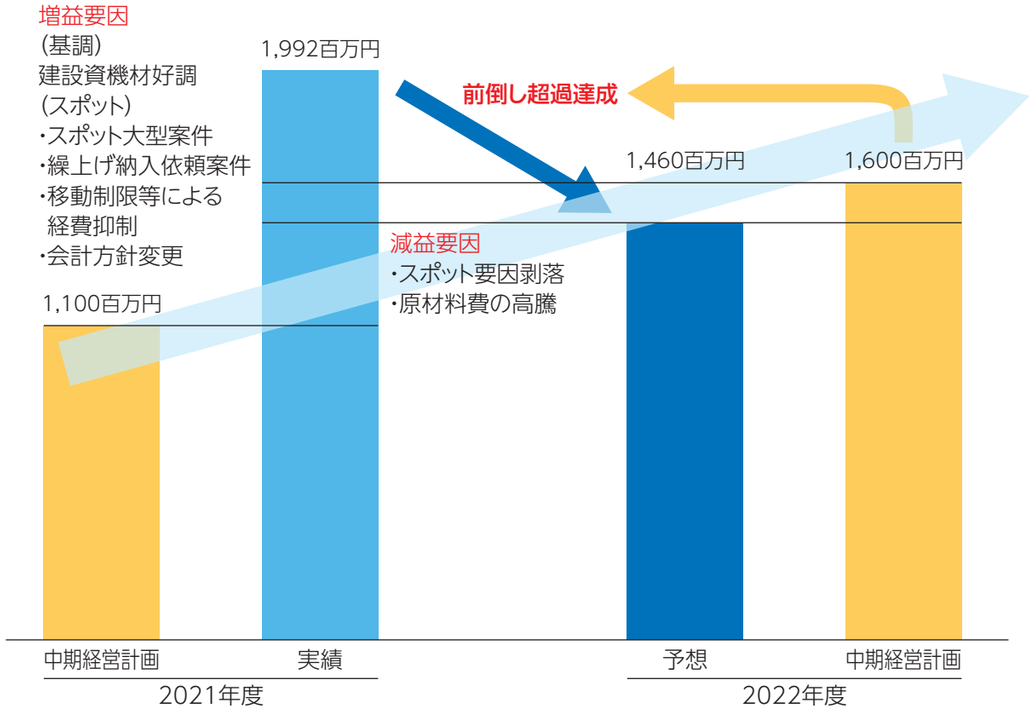
**連結会計年度の推移** （単位：億円）



# ②中期経営計画（2020-2022）の利益計画の進捗状況

**3年目目標の経常利益1,600百万円を1年前倒しして大幅超過達成。但し、2022年度と見積もっていた案件の繰り上げ納入依頼への対応やスポット大型案件の寄与が大きく、2022年度は減益となり、最終年度の目標額は未達の見通し。目標未達となるが、中期経営計画期間中に収益力は着実に向上。**

**【連結経常利益の計画と実績の推移】**








## 株主還元の方針

・直接的な利益還元（配当）と成長投資による中長期的な株価上昇のトータルリターンを目指します。
・配当金は、長期安定配当を基本とし、株主資本配当率 (DOE) 3.5%以上を目安とします。

株主資本配当率（DOE）とは、株主資本という「元手」に対して年間どれだけの配当金としての還元をするかをみる指標です。
配当性向では配当額は当該期の短期の業績に左右されますが、株主資本配当率では配当性向に比べ配当額が安定しています。また、中長期的には成長投資が収益化すれば、株主資本が増加し、配当額の増加も期待できます。

# ③2021年度配当金について ～前年度比 +4円

**上述の株主還元方針に沿い株主資本配当率3.5%以上を目安とし、更に投資有価証券売却益等を総合的に勘案して、1株当たり14円といたしました。**

| | | 2020年度 | **2021年度** | 2022年度（予想） |
|---|---|---|---|---|
| 1株当たり配当金 | | 10円 | **14円** | 13円 |
| 【検討要素】 | 株主資本配当率 | | | |
| | 特別利益等 | | | |

# セグメント別概況

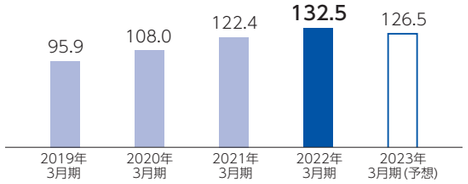
## 建設用資機材の製造・販売事業

事業内容

土木建設資材である「アンカー」、「落橋防止装置」、「PC用ケーブル」、「外ケーブル」、「斜材」などのケーブル製品、土木分野での鉄鋼製品である「KIT受圧板」、「変位制限装置」、土木耐震金物等の鉄鋼製品、ならびにESCONを含むコンクリート製品を製造・販売

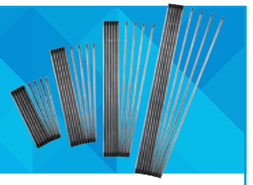
売上高 **132億52百万円**
(前期比8.2%増)

**建設用資機材の製造・販売事業 売上高** :単位(億円)




「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」への対応、橋梁更新工事や豪雨災害などの対策工事が進められるなか、落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売および河川災害用ブロック等の販売が好調に推移し、増収増益となりました。

## 建築用資材の製造・販売事業

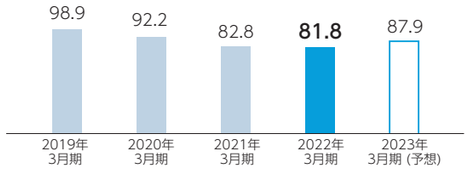


事業内容

建物に用いられる建築資材である「セパレーター」、「吊りボルト」等の製造・販売、ならびに鉄骨工事および建築部材・建築耐震金物等を製造・販売

売上高 **81億86百万円**
(前期比1.2%減)

**建築用資材の製造・販売事業 売上高** :単位(億円)




新型コロナウイルス感染症の影響により民間建築の回復が遅れ、売上高は予想を下回りましたが、製品販売および鉄骨工事の利益率改善に努め、減収増益となりました。

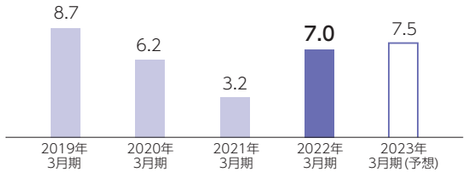
## 建設コンサルタント事業

事業内容

アジア・アフリカを中心とする世界各国の道路、橋梁、河川堤防をはじめとする、調査、計画、設計、施工管理等の建設コンサルタント事業

売上高 **7億3百万円**
(前期比117.9%増)

**建設コンサルタント事業 売上高** :単位(億円)




新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外現地活動が停滞しましたが、国によっては活動が再開できる状況になっております。また、期首から収益認識の会計基準への変更により進捗度等に基づき売上を計上しており、前期比では増収増益となりました。

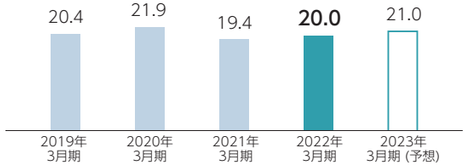
## 補修・補強工事業

事業内容

橋梁、トンネル、ダム等の土木構造物の点検・調査から設計・施工まで一貫した補修・補強の工事業

売上高 **20億6百万円**
(前期比3.2%増)

**補修・補強工事業 売上高** :単位(億円)




国土強靱化対策等により、受注環境は引き続き良好に推移しました。採算を重視した選別受注に取り組みましたが、前年より高利益の工事が減少したことにより、増収減益となりました。

# 社会課題解決に貢献するエスイーグループの技術

・国土強靭化、社会インフラの老朽化対応、温室効果ガス削減、IT化、途上国支援・・・、どれもが **日本が直面する大きな課題**。
これらの社会課題に対して、エスイーグループは**Sustain**（支える・守る・つなぐ）のために培ってきた経験・技術を拡張・進化させ、深刻化する社会問題を新しい**Sustain**（支える・守る・つなぐ）により解決し、**Sustainable**な社会の発展に貢献していきます。
・そして、自らも**Sustainable**な発展を遂げ、全てのステークホルダーの満足を追求し続けます。

**エスイーグループが2030年に目指す姿**

すべての人々に、Sustainableな発展を―
人々の豊かさへの希求に応える
社会資本グローバル・
リーディング・カンパニー

## 社会インフラ構築での圧倒的実績

落橋防止装置 販売実績 317,894本

グラウンドアンカー 販売実績 821,125本

斜材ケーブル 販売実績 83件

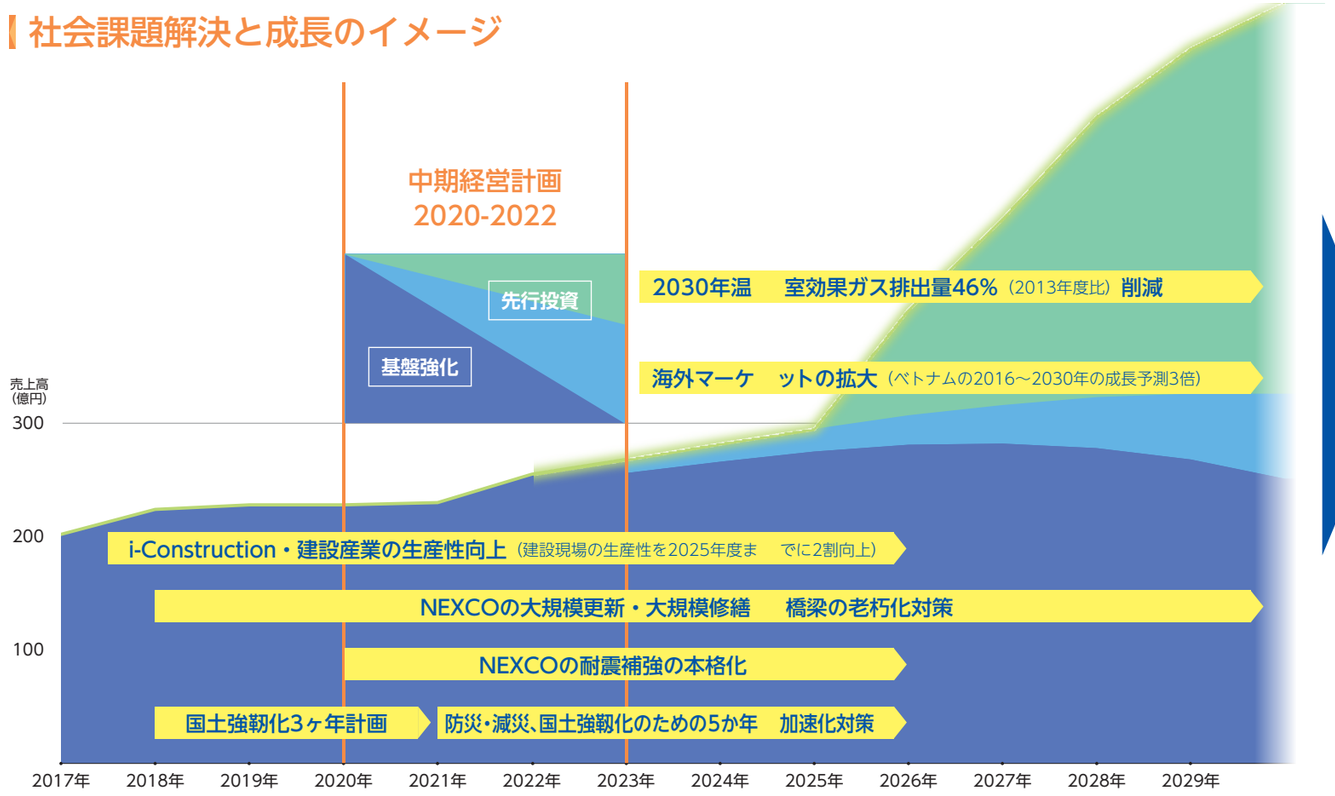
KIT受圧板 販売実績 124,464基

外ケーブル 販売実績 1,164件

港湾・漁港用グラウンドアンカー 販売実績 1,085件

（※販売開始～2022年3月期時点の実績）

## 社会課題解決と成長のイメージ




## エスイーグループが提供する価値

**自然と社会のレジリエンスの向上に貢献し、グローバルな経済の発展と地球環境の両立した社会を実現します。**

### ❶進化したSustain（守る）

防災技術・製品のＩＣＴ化により、グローバルで
激甚化する災害からインフラを守り、復旧力を向上させます。

### ❷拡張したSustain（守る）

Sustainの分野を拡大し、途上国のインフラ整備、
エネルギー分野のインフラ整備等を進展させます。

**人々が住まう土地にあった社会インフラ構築に貢献し、全ての人々の自律的な生活を実現します。**

### ❸進化・拡張したSustain（支える・つなぐ）

各地域のインフラ整備を支援し、
それぞれの地方の実情にあったインフラを実現します。

## ESCON

2020年度のESCON保護パネル（砂防堰堤用）、ESCONグレーチングに続き、2021年度は、ESCON埋設型枠、ESCON歩道床版、ESCON保護パネル（頭首工用）を上市しました。販売についても、開発・製造・営業が緊密に連携していく体制を更に強化しました。

建設資材としてのESCONの優れた特長を活かすべく、様々な用途、製品開発に取り組んでおりますが、まだ主力のESCON受圧板を凌ぐには至っておりません。

今後は、より規模の大きなマーケットに絞って、喫緊の社会課題解決に資する製品に開発資源を集中させることとし、現在ESCONスラブ（道路橋床版）等の大規模修繕を中心とした橋梁補修関連製品の開発に取り組んでおります。

## 海外事業

2020年4月にグループ内の分散した資源を集中するため、海外事業本部を立上げ、海外に関連する事業を一括して戦略的に実施していく体制にしました。2021年度は、生産本部・営業本部との連携を強化し、(有)日越建設コンサルタント（VJEC）のグループ内活用を推進するなど、グループ内の連携は着実に進展しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限や現地活動停滞により、海外向け建材販売は低迷し、ベトナムでの具体的な展開策策定にも遅れが生じておりますが、本中期経営計画の最終年度である2022年度中には具体策を策定していきます。

## プラズマ発電事業

新型コロナウイルス感染症の影響により研究活動にも困難な環境が続きましたが、原材料の効率的な量産化技術の研究は進展し、更に大型の実験設備を導入する段階に至りました。新型コロナウイルス感染症の影響や世界的な設備資材の供給不足により、大型設備による実験開始が2022年度になるため、事業化の詳細決定も2023年度、発電所稼働は2026年度となる計画で実現化を図ってまいります。

また、研究開発の進展に伴い、研究開発者以外に新規事業開発経験者も加えて、事業化詳細の具体的な検討作業を実施していきます。



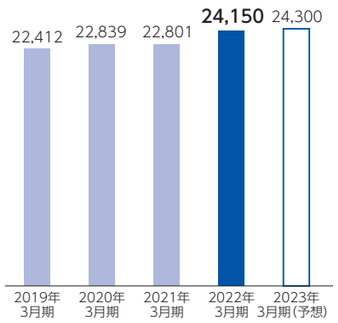


**決算のポイント**

建築金物分野・海外事業において新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、建設用資機材の販売が好調により、増収・大幅増益。
親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益計上もあり、大幅増。

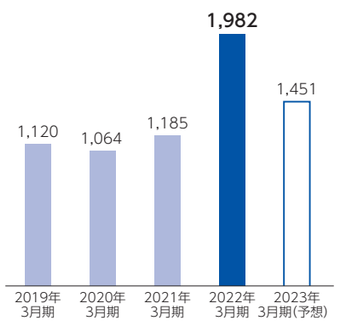
### 売上高

単位(百万円)



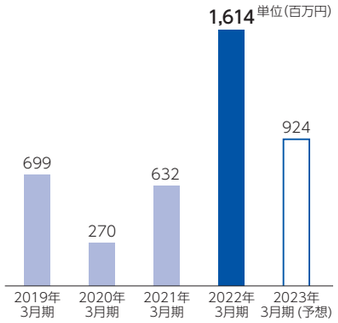

### 営業利益

単位(百万円)



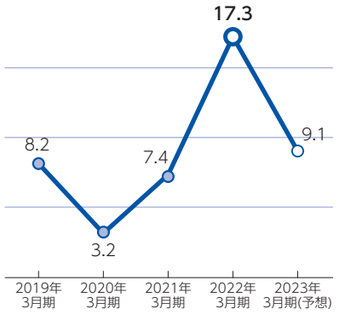

### 親会社株主に帰属する当期純利益

単位(百万円)



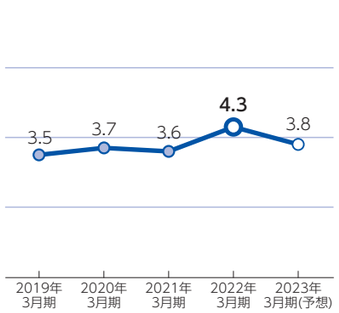

### ROE

単位(%)



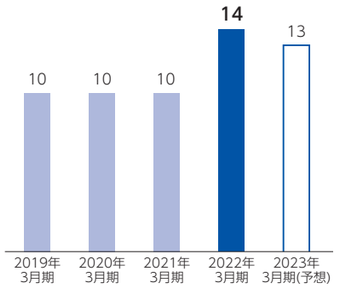

### 株主資本配当率

単位(%)




### 1株当たり配当金

単位(円)




※2018年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。2019年3月期配当金は、株式分割（1：2）を考慮した配当金額。